

稲敷市 “持続可能な地域づくり” ニュース <vol.7>

11月25日（金）、第5回「いなしきを未来につなぐ地域づくりワークショップ」が開催されました。最終回となる今回は、参加者それぞれの思いを改めて確認しながら、「稲敷市持続可能な地域づくりプラン（案）」について話し合いました。

これまでのワークショップを通して得られた、市民目線での地域の変化や課題への気づき、地域を持続していくために必要な視点などを大切にしました内容にすることができました。

このプラン（案）は、12月中旬に開催される「稲敷市持続可能な地域づくりプラン策定委員会」において最終的に議論され、正式に決定する予定です。



このワークショップをきっかけとして、参加者同士の連携が図られたことはとても大きな成果でした。ワークショップ外でも自主的に視察や意見交換を行うなど、事務局の想像を超えた交流が生まれました。

ワークショップ終了後、東部会の山崎さんからは、今後もこのワークショップで生まれたつながりを継続していきたいと、定期的に情報共有・自由な意見交換ができる場として「イナシキシンカイギ」の提案がなされました。

さまざまな思いを持つ人と人が出会い、相互に作用しながら生まれた新たな活動を目の当たりにし、市民、企業、行政などが多様な形につながっていくこと、つながり続けることでもたらされる可能性と価値を強く感じました。

まさに“いなしきを未来につなぐ”ワークショップとなりました。ここで生まれたつながりを大切にしながら、今後さらにこのつながりの輪を広め、持続可能な地域づくりに取り組んでいきます。

これまでのワークショップの様子

